

2023年中の人口の動き

～ 目次 ～

I 人口動態	1
1 概況.....	1
2 区別の状況.....	2
3 日本人・外国人別の状況.....	2
II 自然動態	3
1 概況.....	3
2 区別の状況.....	3
3 出生・死亡.....	4
III 社会動態	6
1 概況.....	6
2 区別の状況.....	6
3 転入・転出・転入超過の状況.....	10
(1) 相手地域別の状況	10
(2) 年齢別の状況.....	14
(3) 年齢別・相手地域別の状況.....	15
IV 参考表	17
表1 人口の動きの推移	17
表2 月別人口の動き	18
表3 日本人・外国人別人口の動きの推移.....	19
表4 自然動態の推移.....	20
後掲表.....	別表

利用上の注意

ここで述べる人口の動きは、住民基本台帳法の規定に基づく出生・死亡・転入・転出の届出を集計したものである。（平成24年（2012年）7月8日までは外国人登録法の規定に基づく届出を含む。）

「自然動態」とは、一定期間における出生・死亡に伴う人口の動きであり、「社会動態」とは、転入・転出に伴う人口の動きである。これらの自然動態と社会動態を合わせた人口の動きを「人口動態」という。

また、グラフ上、死亡数・転出数を負の値として表示しているものがある。

用語の解説

人口増減数＝自然増減数＋社会増減数

自然増減数＝出生数－死亡数

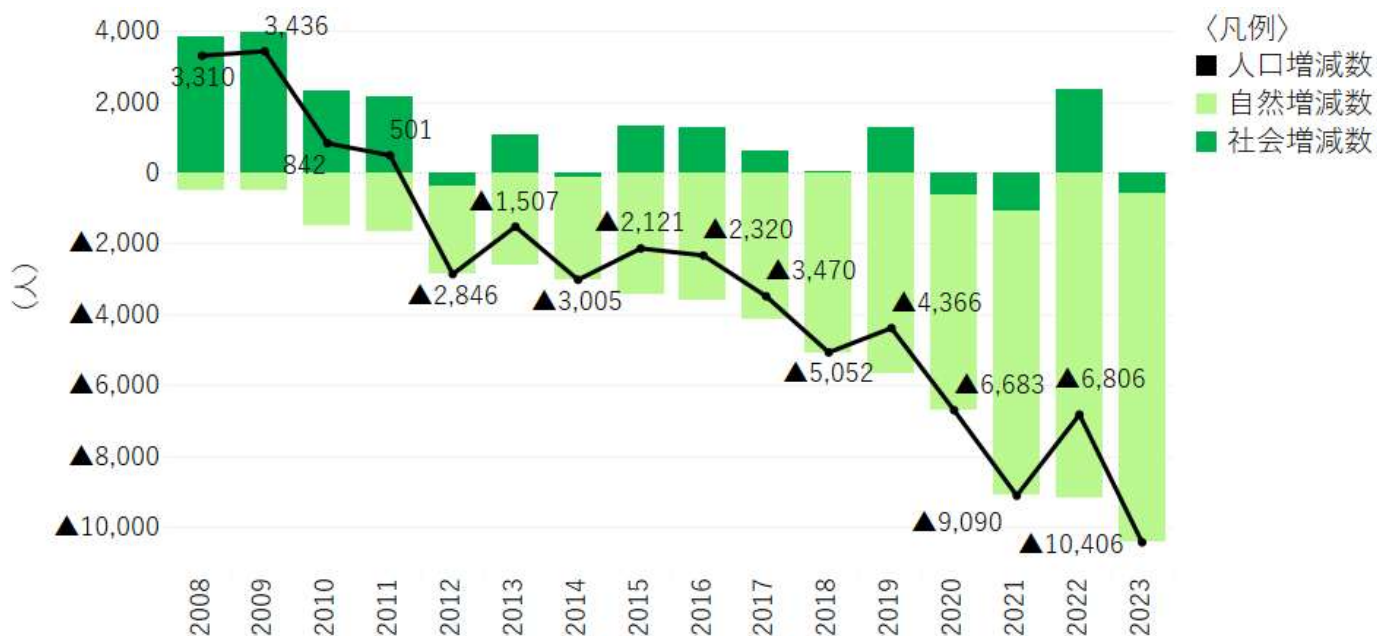
社会増減数＝社会増（転入、その他の増）－社会減（転出、その他の減）

I 人口動態

1 概況

- 人口増減数は 10,406 人の減少で 12 年連続の人口減少。
- 自然増減数は 9,832 人の減少。
- 社会増減数は 574 人の減少。

図1 人口増減数の推移



資料：IV参考表「表1 人口の動きの推移」

図2 推計人口の推移



注) 2008年～2009年、2011年～2014年、2016年～2019年は、それぞれ2005年、2010年、2015年、2020年の国勢調査結果（確定数）に基づき補間補正した人口により算出している。よって、住民基本台帳上の人口の増減とは一致しない。

2 区別の状況

- 人口増加となったのは中央区。兵庫区は人口増加から人口減少に転じた。
- 人口減少の区のうち、垂水区では前年より人口減少幅が縮小し、その他の区では人口減少幅が拡大した。

図3 区別、人口増減数

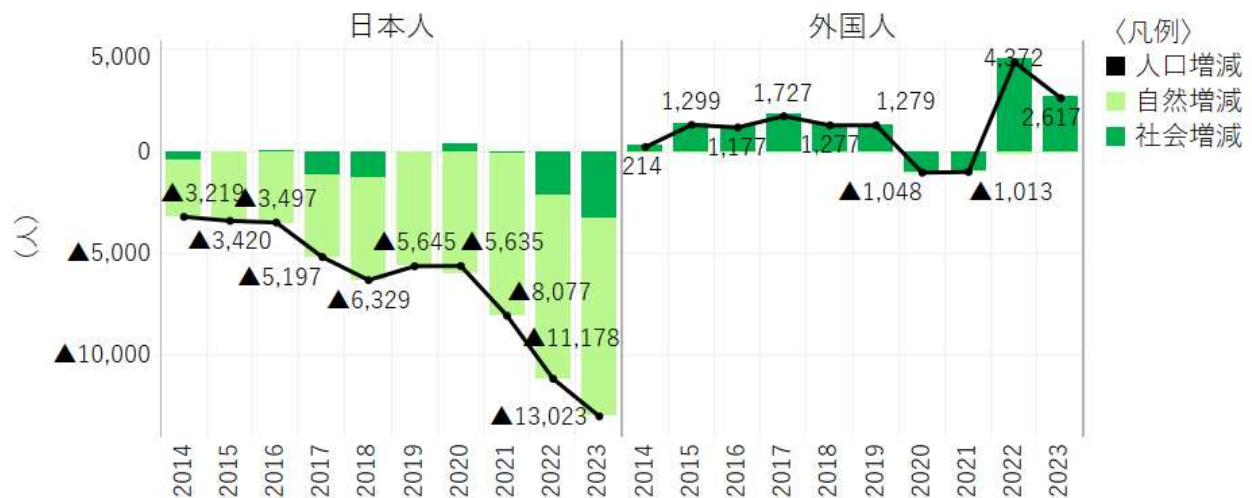


資料：IV参考表「表1 人口の動きの推移」

3 日本人・外国人別の状況

- 人口増減数は日本人が13,023人の減少、外国人が2,617人の増加。
- 自然増減数は日本人が9,760人の減少、外国人が72人の減少。
- 社会増減数は日本人が3,263人の減少、外国人は2,689人の増加。

図4 日本人・外国人別、人口増減数の推移



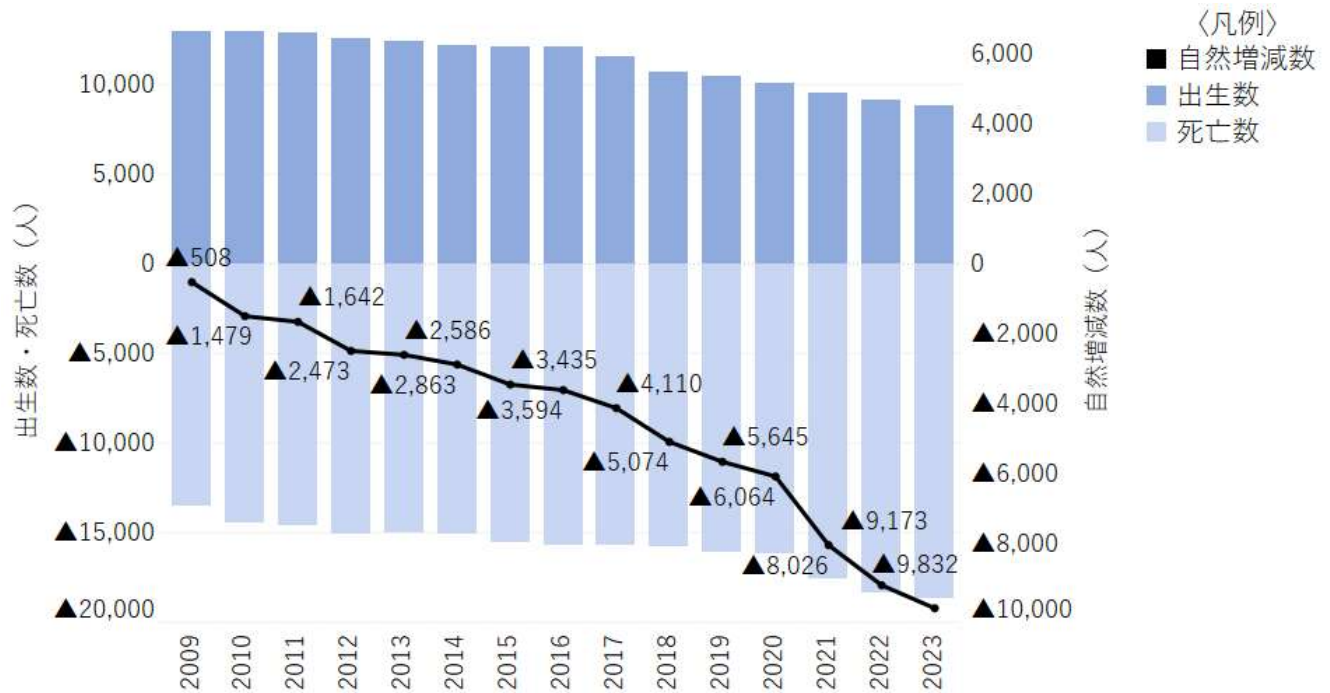
資料：IV参考表「表3 日本人・外国人別人口の動きの推移」

II 自然動態

1 概況

- 自然増減数は 9,832 人の減少で、17 年連続の減少。
- 出生数は 8,818 人、前年より 378 人減少。
- 死亡数は 18,650 人、前年より 281 人増加。

図5 自然増減数の推移

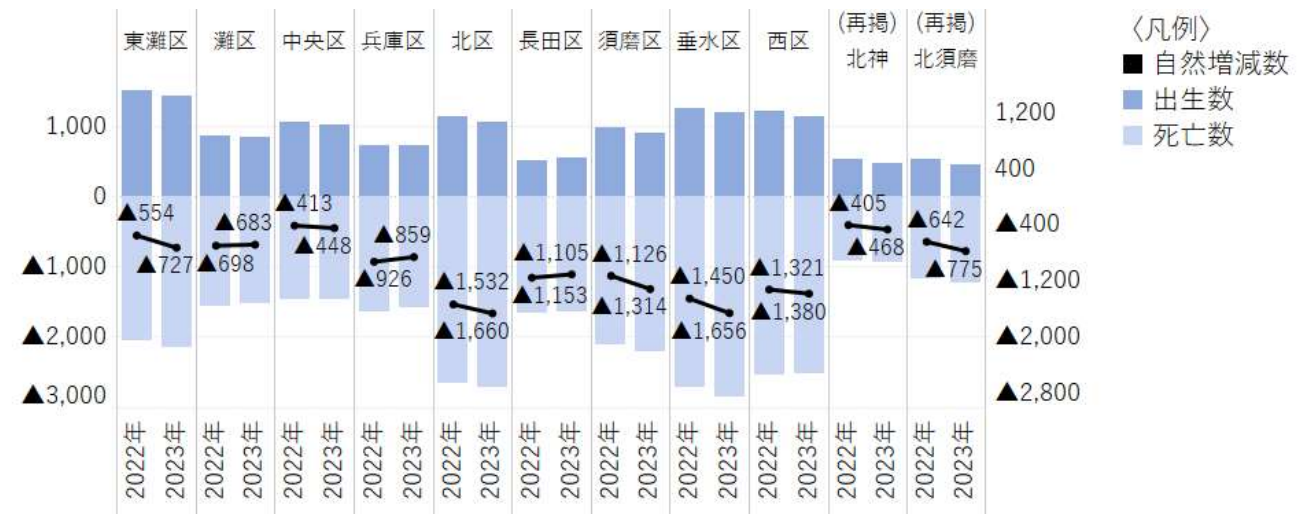


資料：IV参考表「表4 自然動態の推移」

2 区別の状況

- 全ての区で自然減少。
- 自然減少数が最も大きかったのは北区、次いで垂水区。
- 灘区、兵庫区、長田区では前年より自然減少幅が縮小し、その他の区では自然減少幅が拡大した。

図6 区別、自然増減数

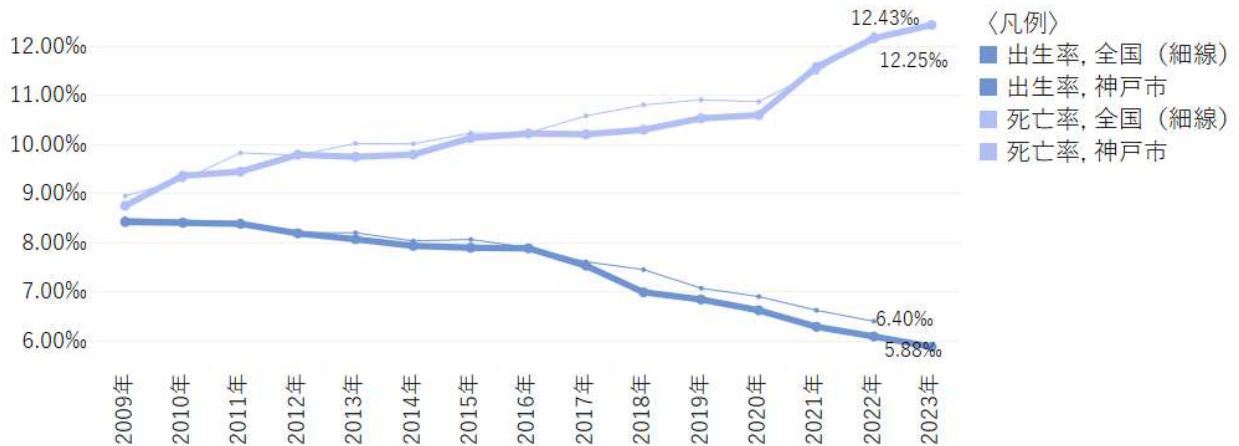


資料：後掲表「第2表 区別人口動態の推移」

3 出生・死亡

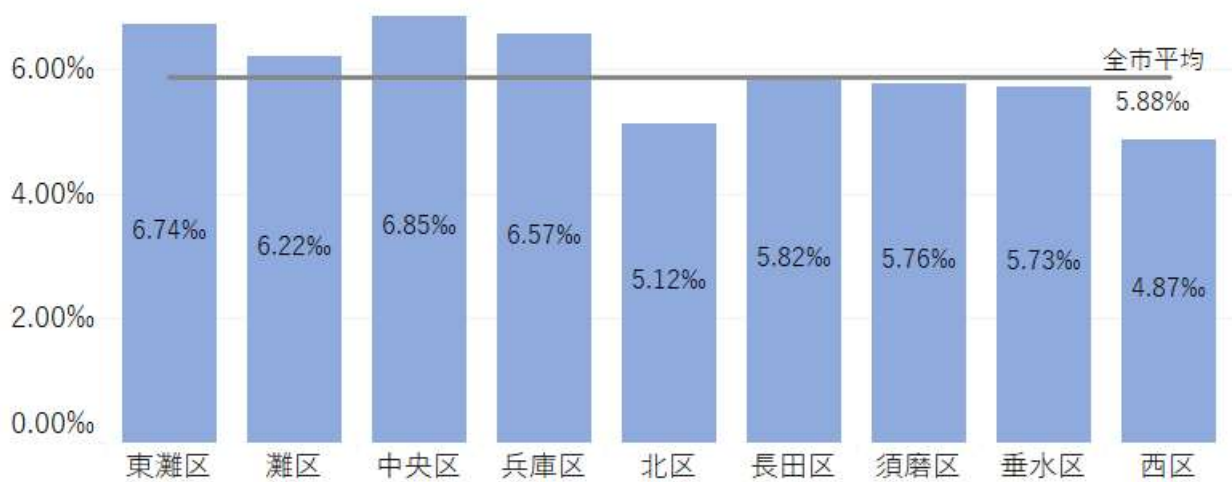
- 出生率は5.88‰で、前年より0.21ポイントの低下。死亡率は12.43‰で、前年より0.27ポイントの上昇。
- 出生率が最も高い区は中央区、次いで東灘区。対して最も低い区は西区、次いで北区。
- 死亡率が最も高い区は長田区、次いで兵庫区。対して最も低い区は中央区、次いで東灘区。

図7 出生率・死亡率の推移



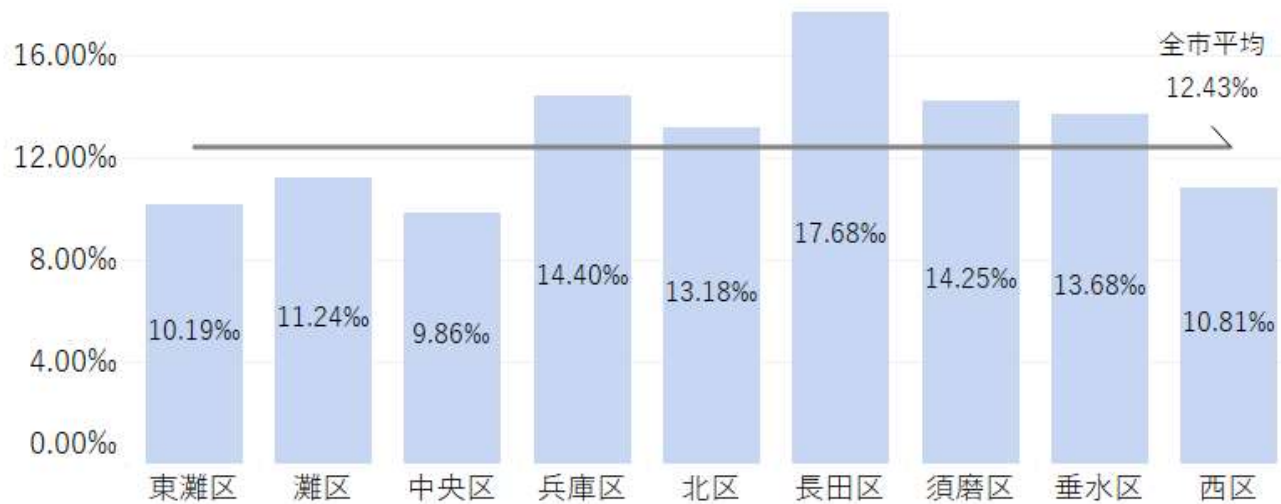
資料：IV参考表「表4 自然動態の推移」、総務省統計局「人口推計月報」（全国）

図8 区別、出生率



資料：IV参考表「表4 自然動態の推移」

図9 区別、死亡率



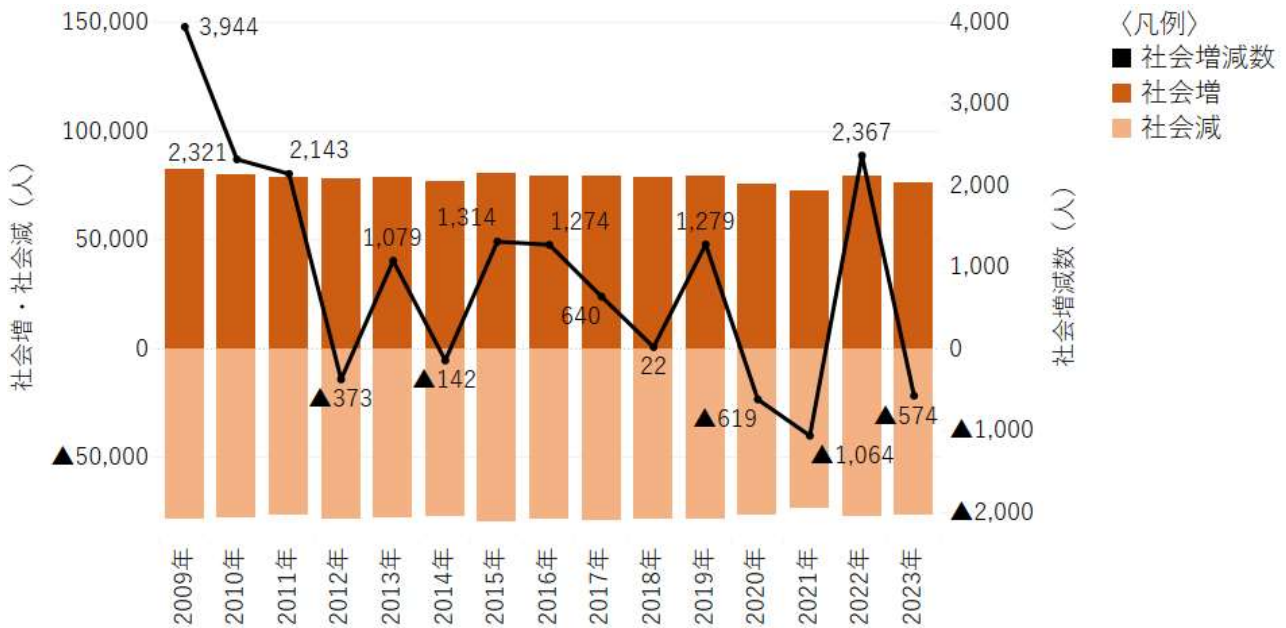
資料：IV参考表「表4 自然動態の推移」

III 社会動態

1 概況

- 社会増減数は 574 人の減少で社会増加から社会減少に転じた。
- 社会増は 76,056 人で前年より 3,124 人減少。うち、市外からの転入数は 51,693 人で前年より 2,254 人減少。
- 社会減は 76,630 人で前年より 183 人減少。うち、市外への転出数は 51,150 人で前年より 919 人増加。

図10 社会増減数の推移



資料：後掲表「第1表 人口の自然動態及び社会動態」

2 区別の状況

- 社会増加となった区は灘区、中央区、兵庫区、長田区。
- 北区においては、社会増加から社会減少に転じた。

図11-1 社会増減数の推移（東灘区）

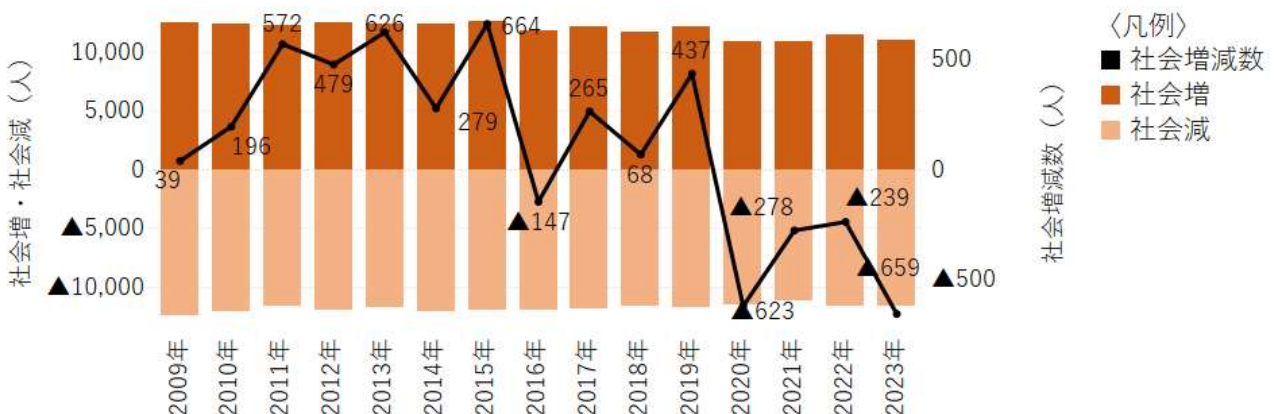


图11-2 社会増減数の推移（灘区）

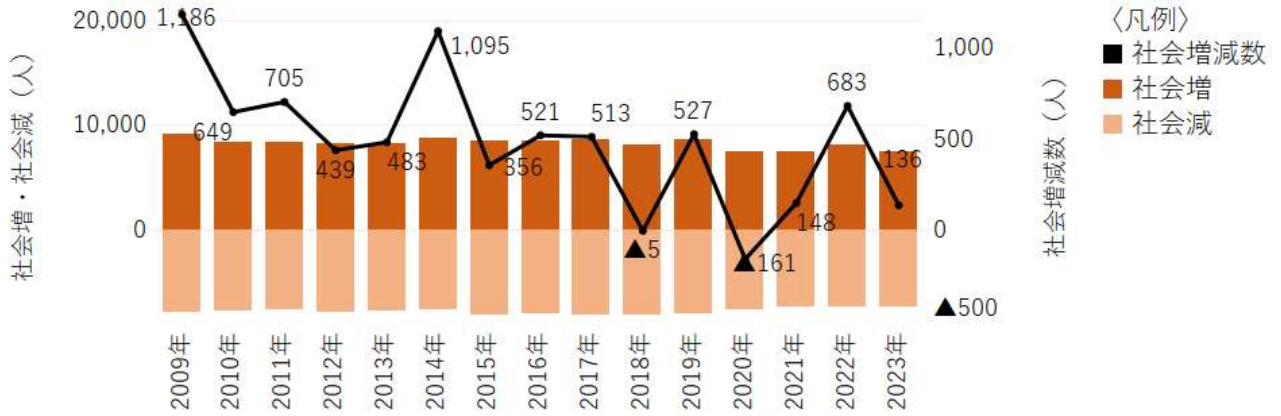


图11-3 社会増減数の推移（中央区）

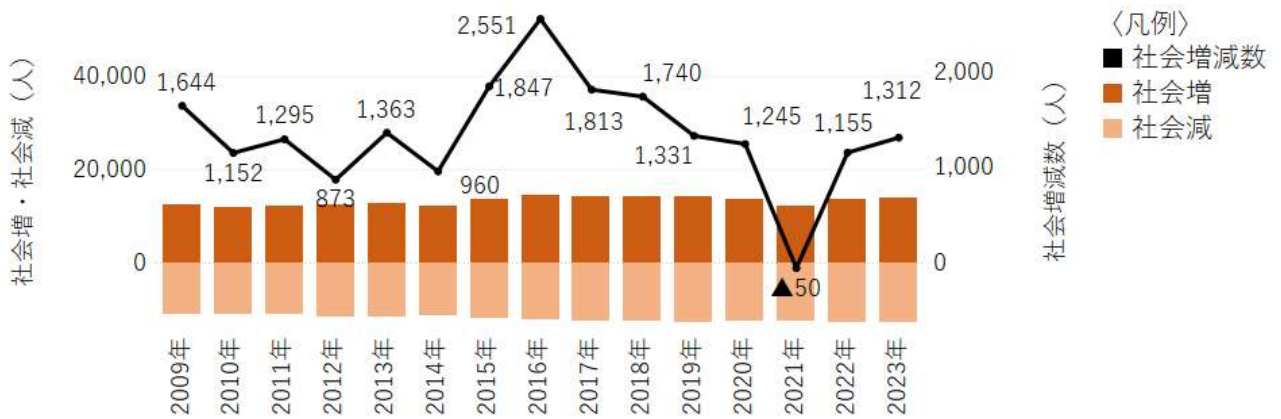


图11-4 社会増減数の推移（兵庫区）

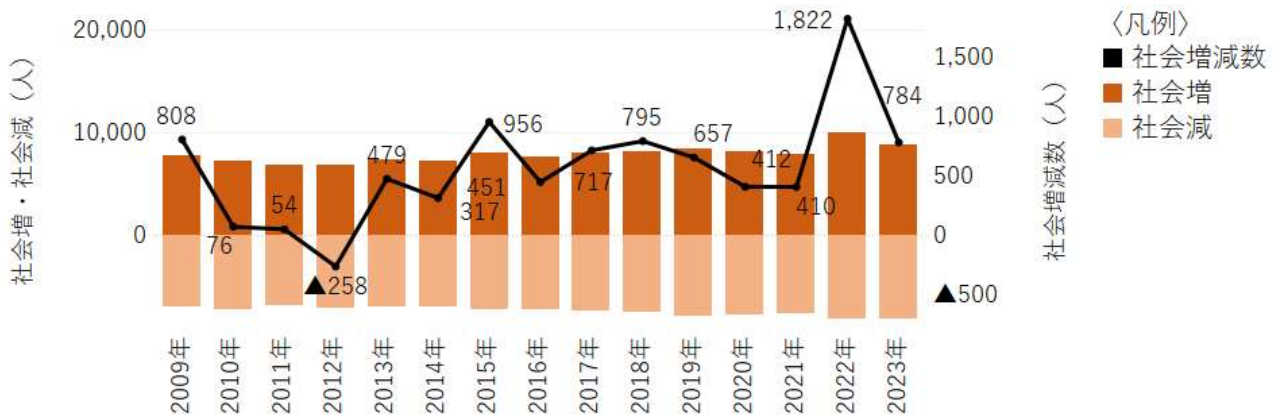


图11-5 社会増減数の推移（北区）

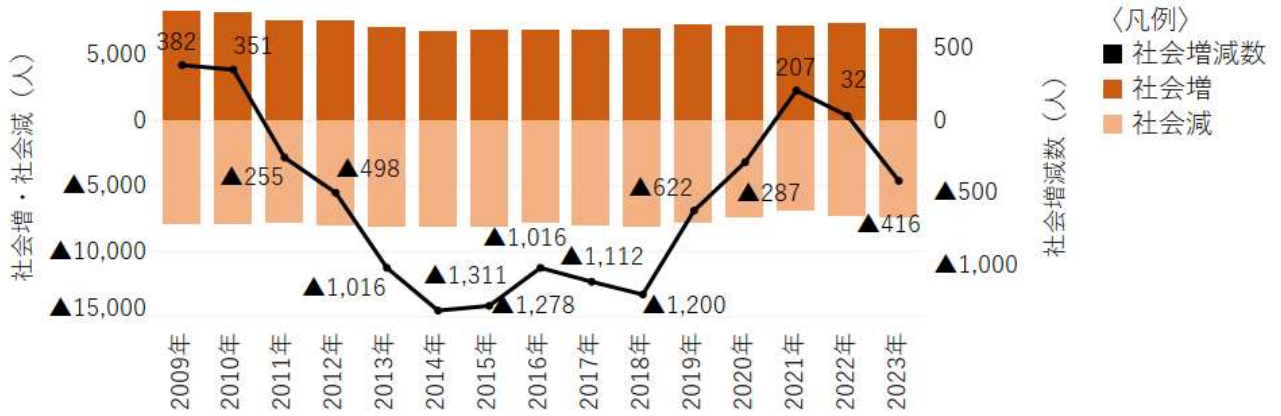


图11-6 社会増減数の推移（北本区（左図）・北神（右図））

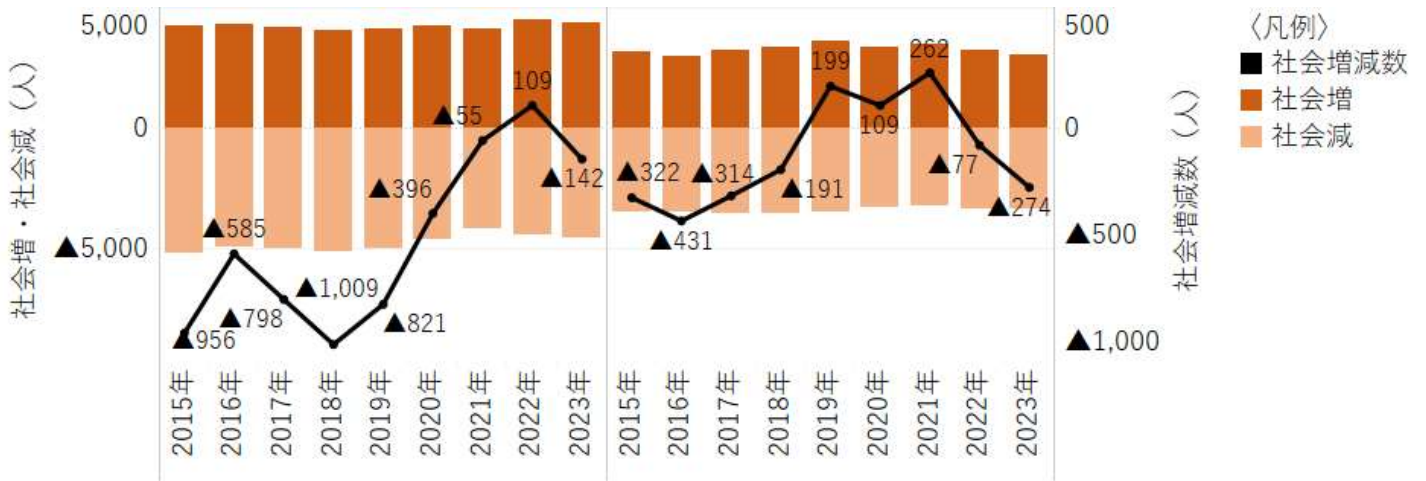


图11-7 社会増減数の推移（長田区）

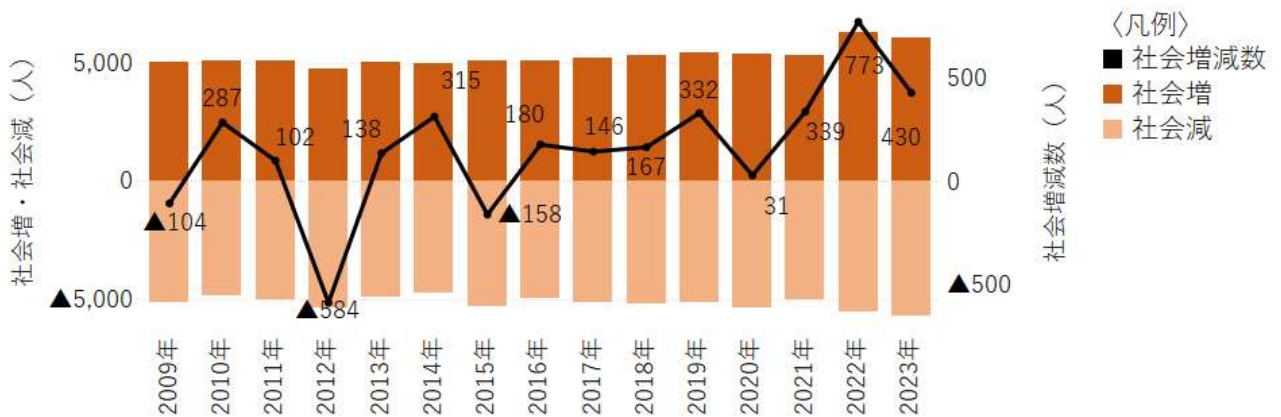


図11-8 社会増減数の推移（須磨区）

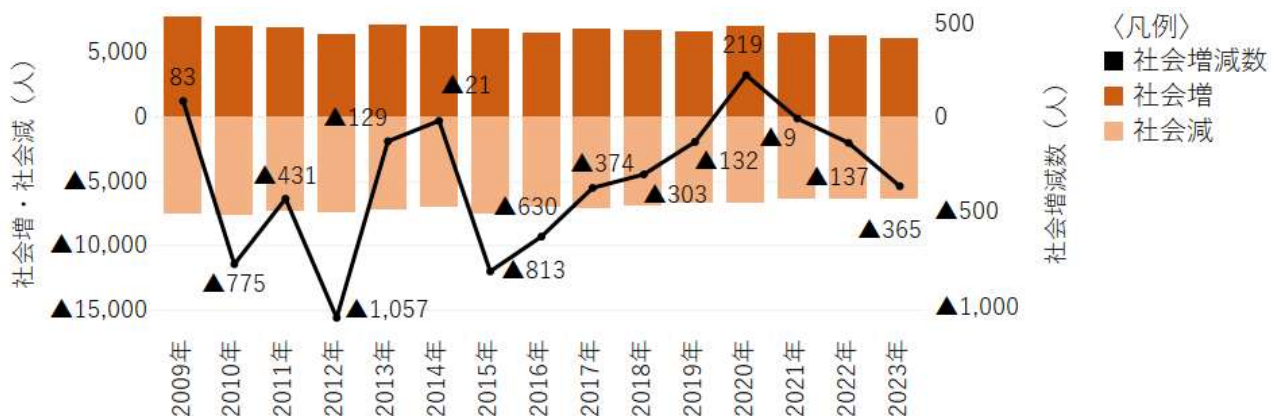


図11-9 社会増減数の推移（須磨本区（左図）・北須磨（右図））

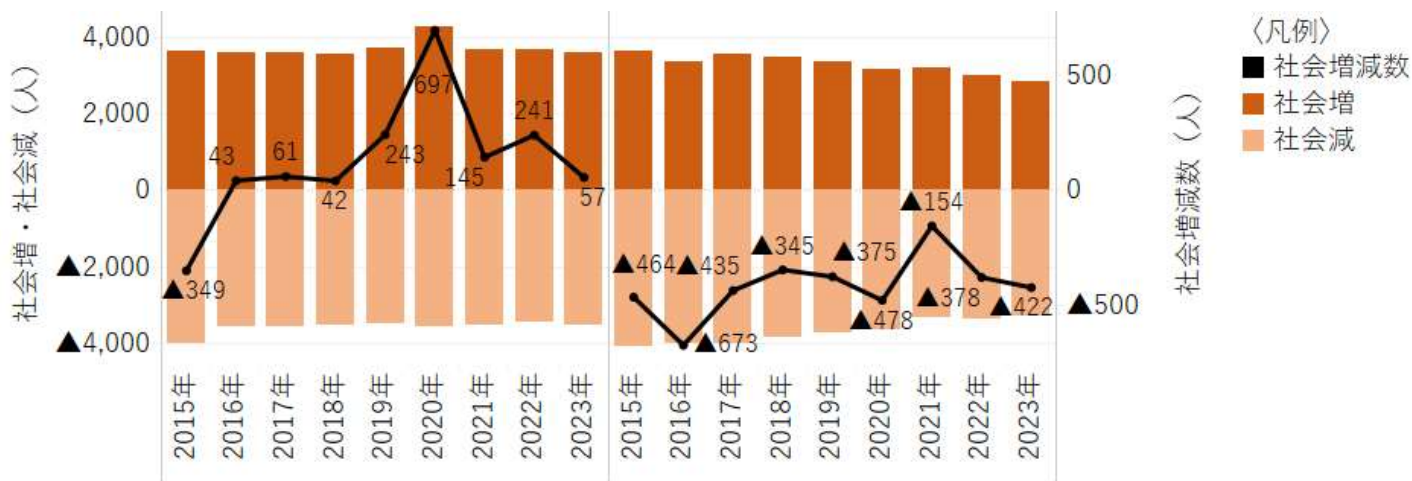


図11-10 社会増減数の推移（垂水区）

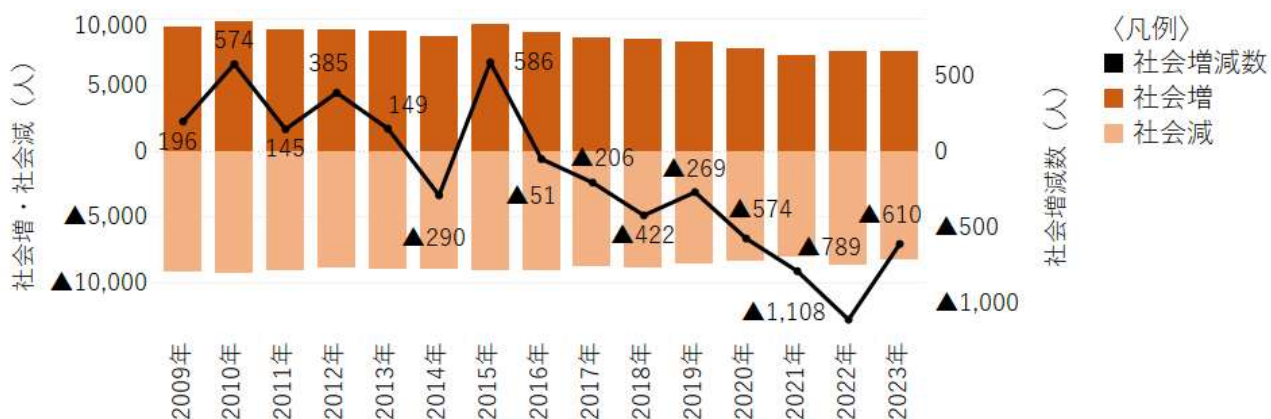
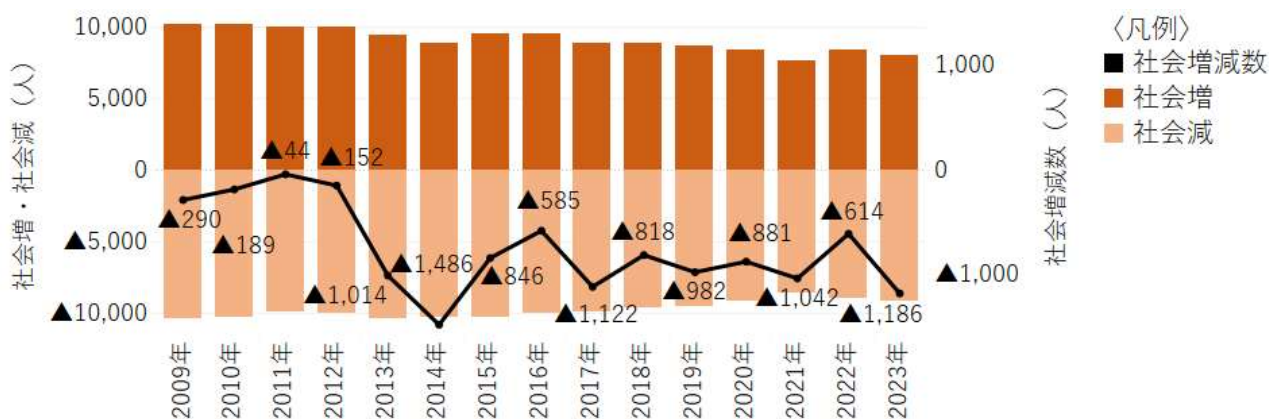


図11-11 社会増減数の推移（西区）



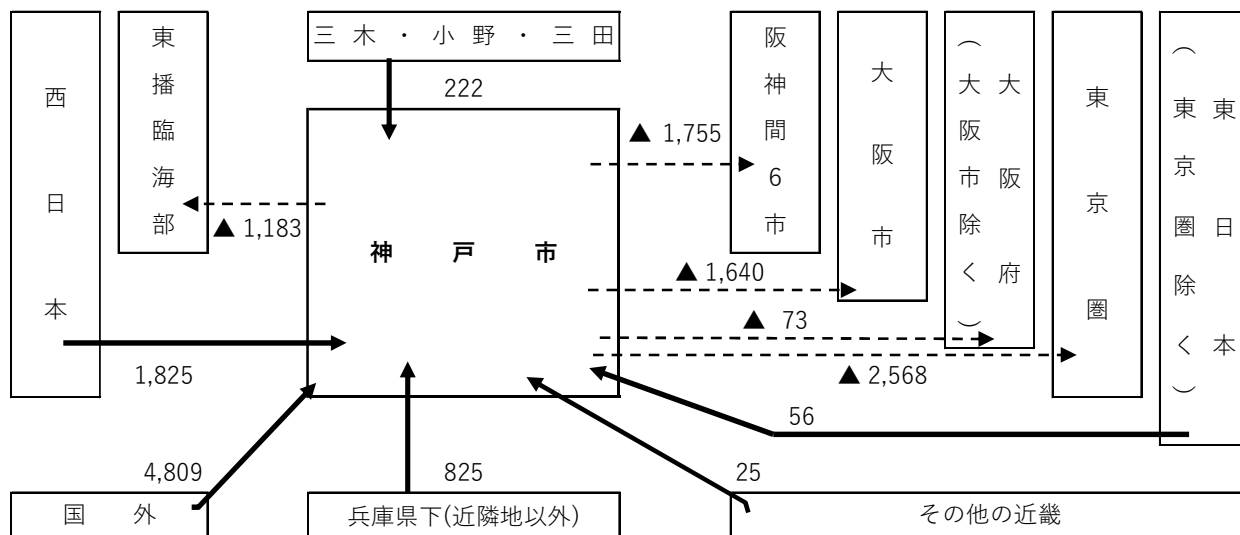
資料：後掲表『第2表 区別人口動態の推移』（図11-1~11）

3 転入・転出・転入超過の状況

(1) 相手地域別の状況

- 転入超過だった地域は三木・小野・三田、兵庫県下（近隣地以外）、その他の近畿、東日本（東京圏除く）、西日本、国外。
- その他の近畿においては転出超過から転入超過に転じた。
- 東京圏への転出超過数は前年より441人拡大。

図12 相手地域別転入超過数（2023年）



※阪神間6市…芦屋市，西宮市，宝塚市，尼崎市，伊丹市，川西市

※東播臨海部…明石市，加古川市，高砂市，加古郡

※東京圏…埼玉県，千葉県，東京都，神奈川県

資料：後掲表『第5表 区，相手地域別転入超過数』

図13-1 転入超過数の推移（阪神間6市）

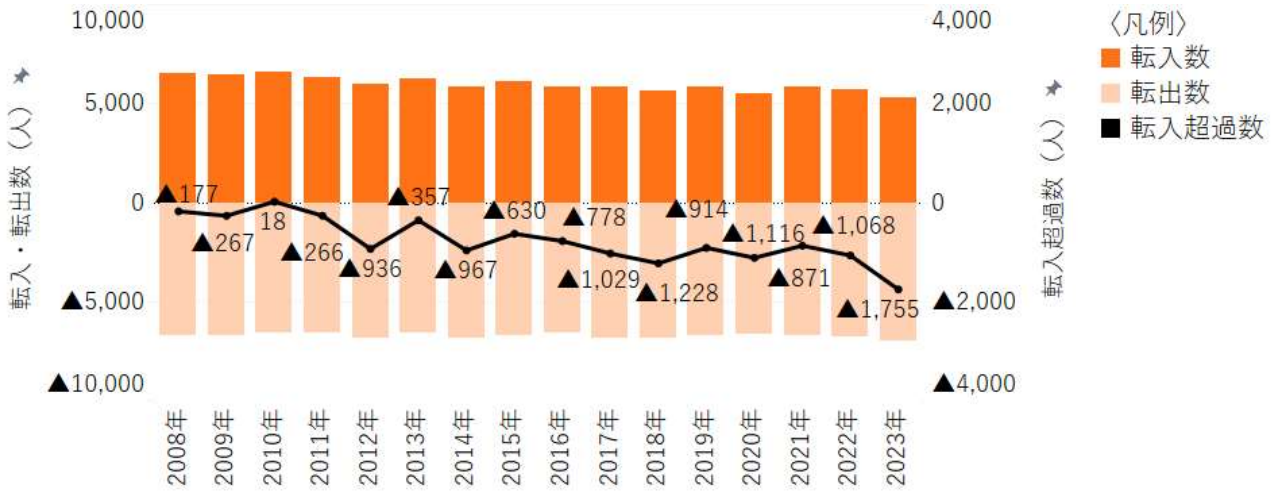


図13-2 転入超過数の推移（東播臨海部）

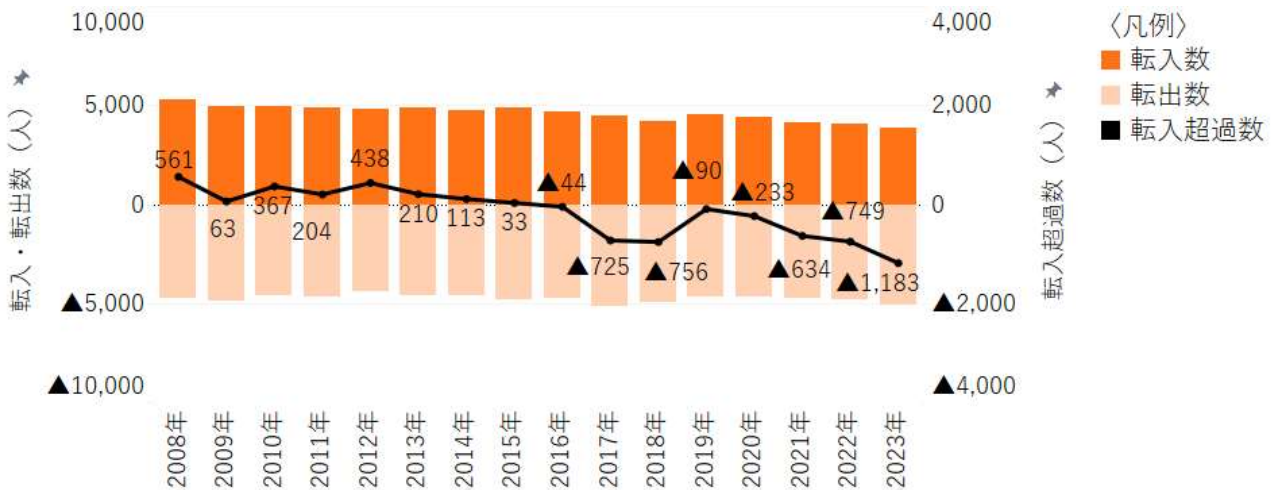


図13-3 転入超過数の推移（三木・小野・三田）

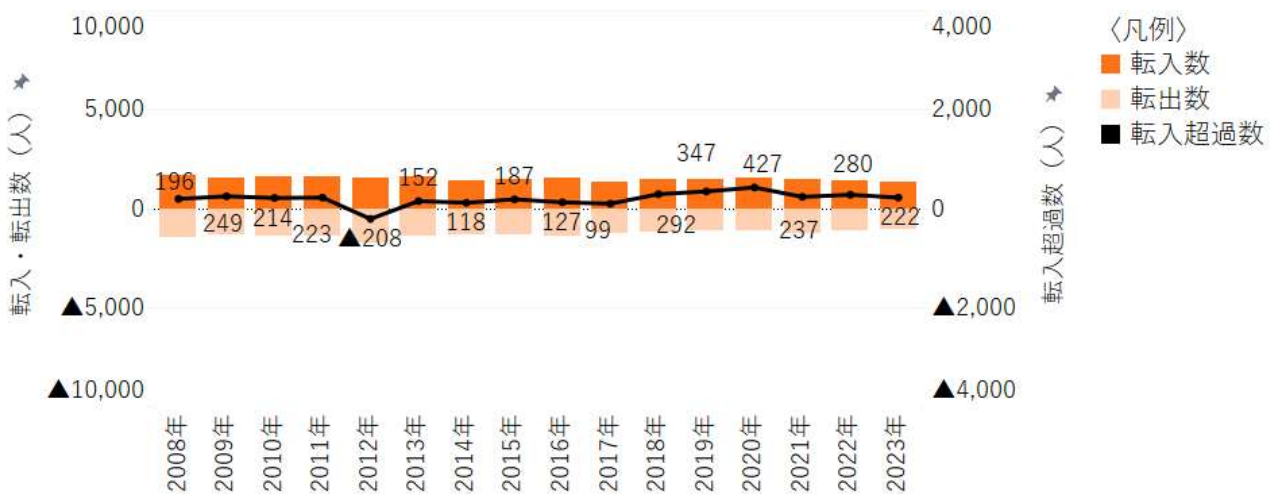


図13-4 転入超過数の推移（兵庫県下（近隣地以外））



図13-5 転入超過数の推移（大阪市）

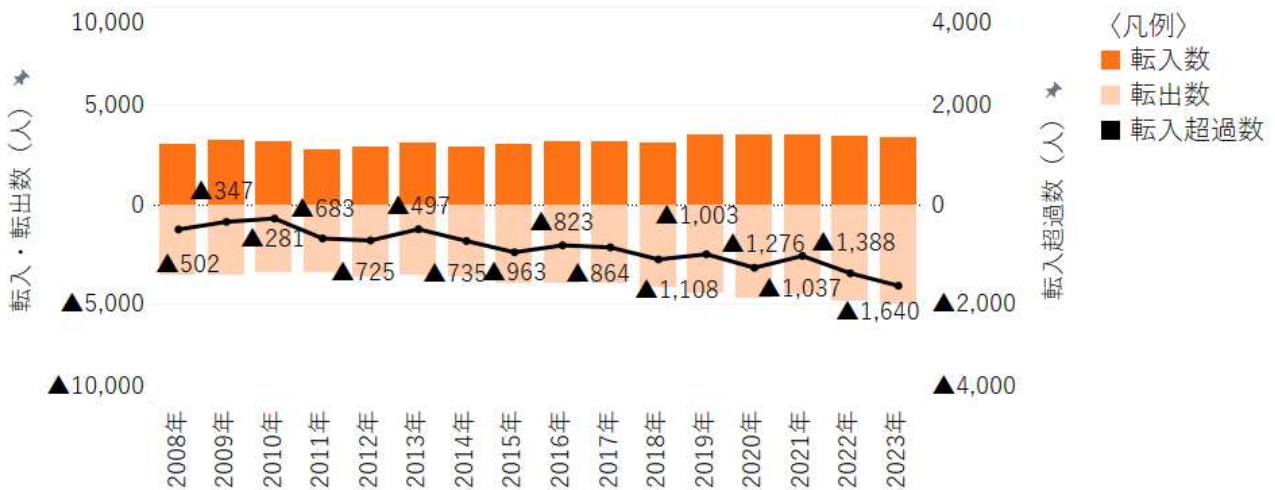


図13-6 転入超過数の推移（大阪府（大阪市除く））



図13-7 転入超過数の推移（その他の近畿）

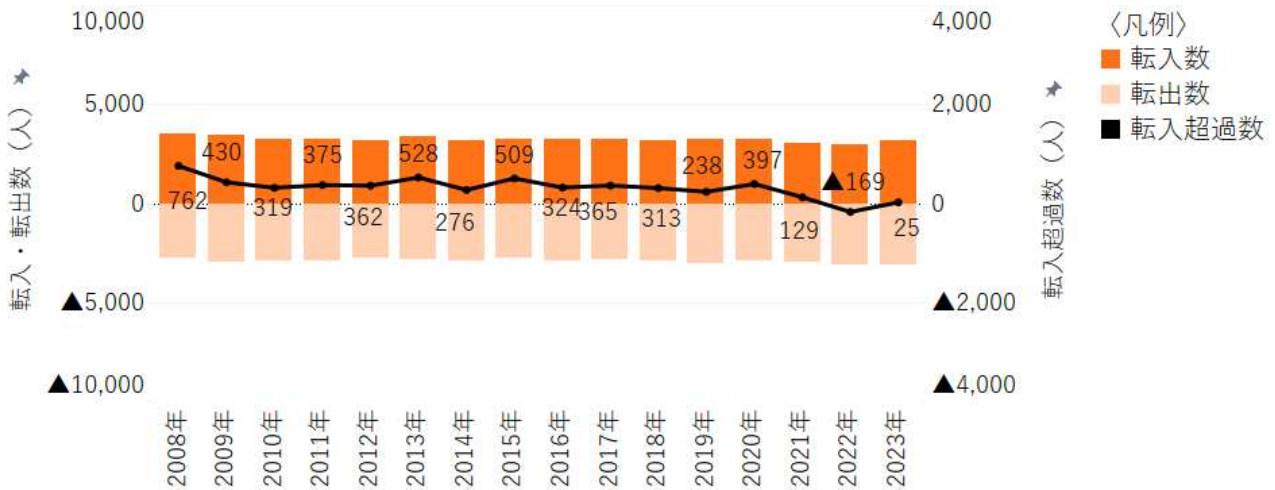


図13-8 転入超過数の推移（東京圏）

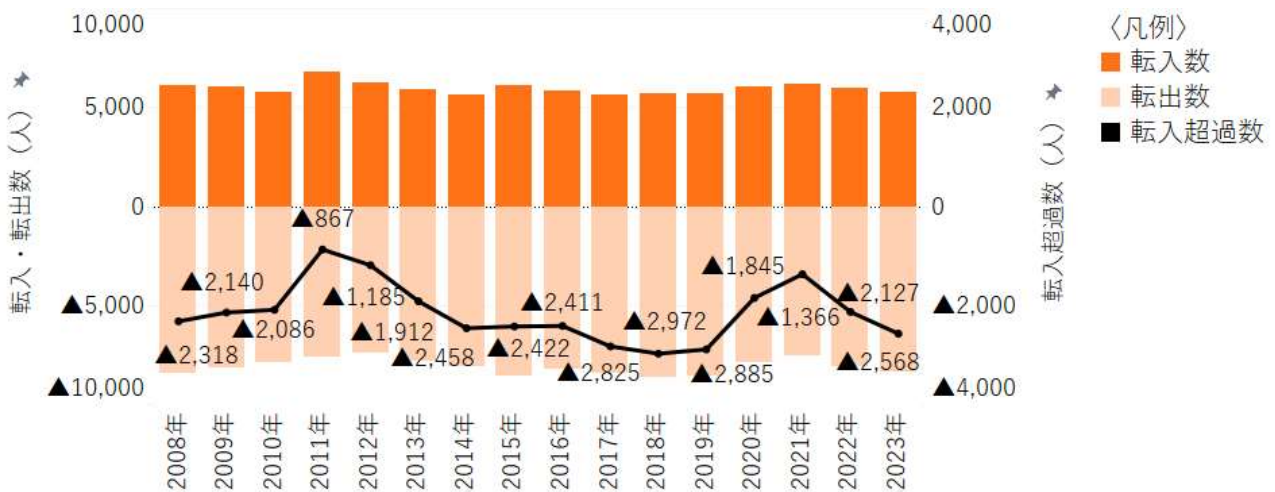


図13-9 転入超過数の推移（東日本（東京圏除く））

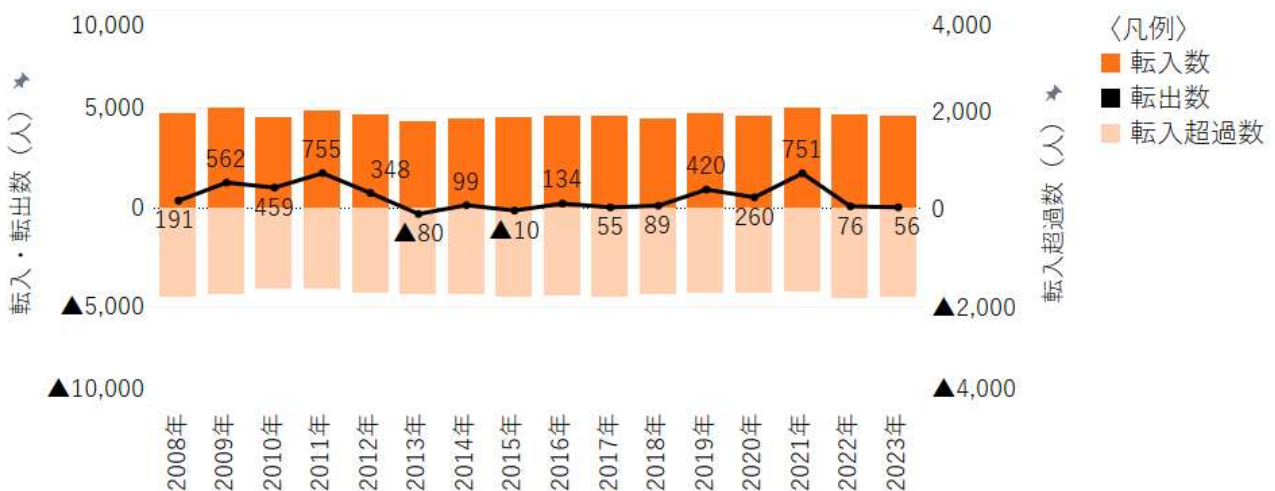


図13-10 転入超過数の推移（西日本）



図13-11 転入超過数の推移（国外）

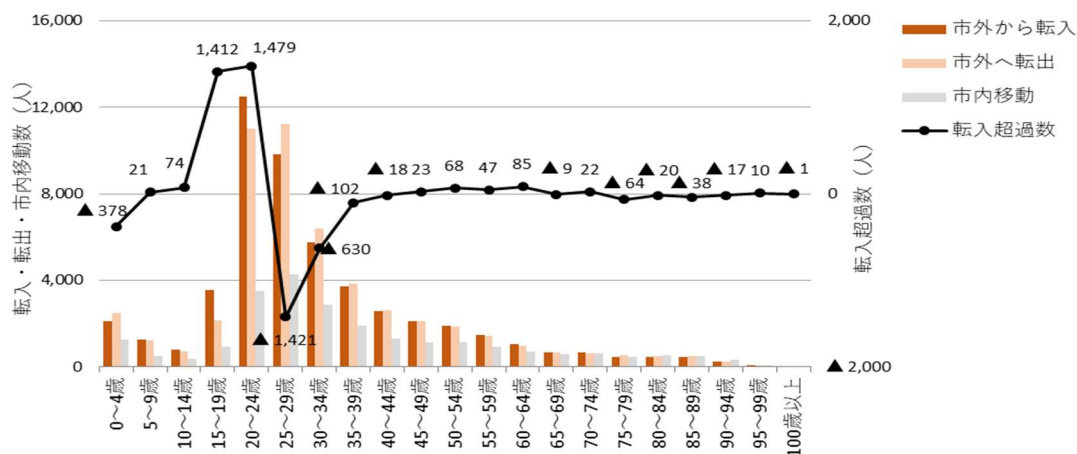


資料：長期時系列人口の動き『第5表 相手地域別転入超過数』（図13-1～11）

(2) 年齢別の状況

- 市外からの転入が最も多いのは20～24歳。市外への転出が最も多いのは25～29歳。市内移動が最も多いのは25～29歳。
- 転入超過数が最も大きいのは20～24歳。対して転出超過数が最も大きいのは25～29歳。

図14 年齢別、転入超過数



資料：後掲表「第12表 年齢（5歳階級）別、相手地域別転入超過数」

(3) 年齢別・相手地域別の状況

- 15～19歳で転入超過となった地域は西日本、国外など。対して転出超過となった地域は東京圏、阪神間6市など。
- 20～24歳で転入超過となった地域は西日本、国外など。対して転出超過となった地域は阪神間6市、大阪市、東京圏など。
- 25～29歳で転入超過となった地域は西日本、国外など。対して転出超過となった地域は阪神間6市、東播臨海部、大阪市、東京圏など。

図15-1 年齢別、転入超過数（阪神間6市）

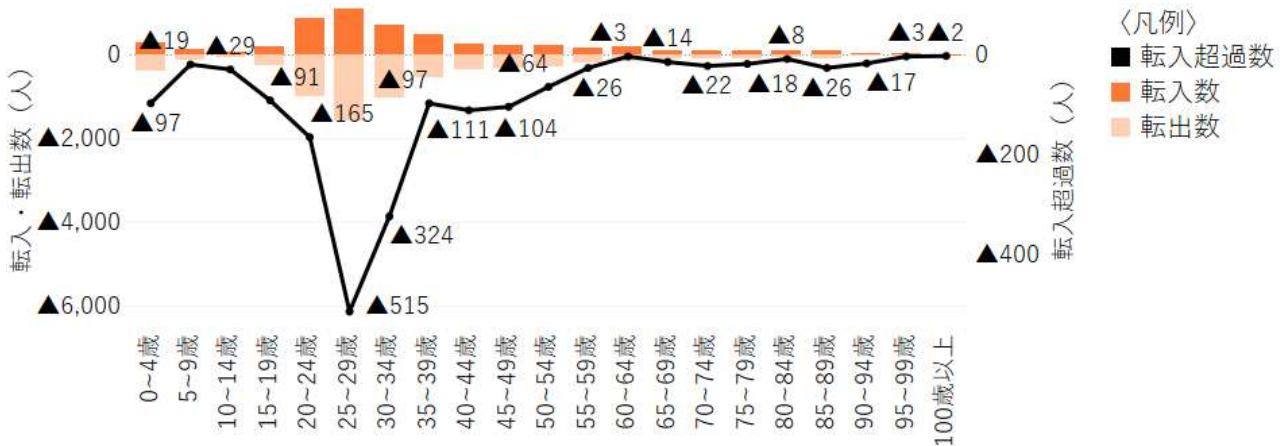


図15-2 年齢別、転入超過数（東播臨海部）

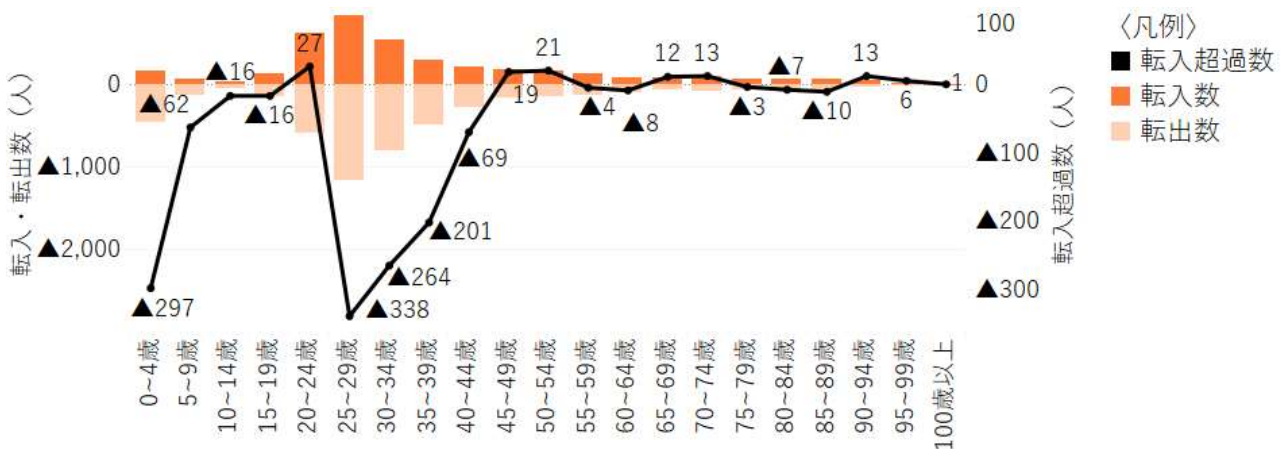


図15-3 年齢別、転入超過数（大阪市）

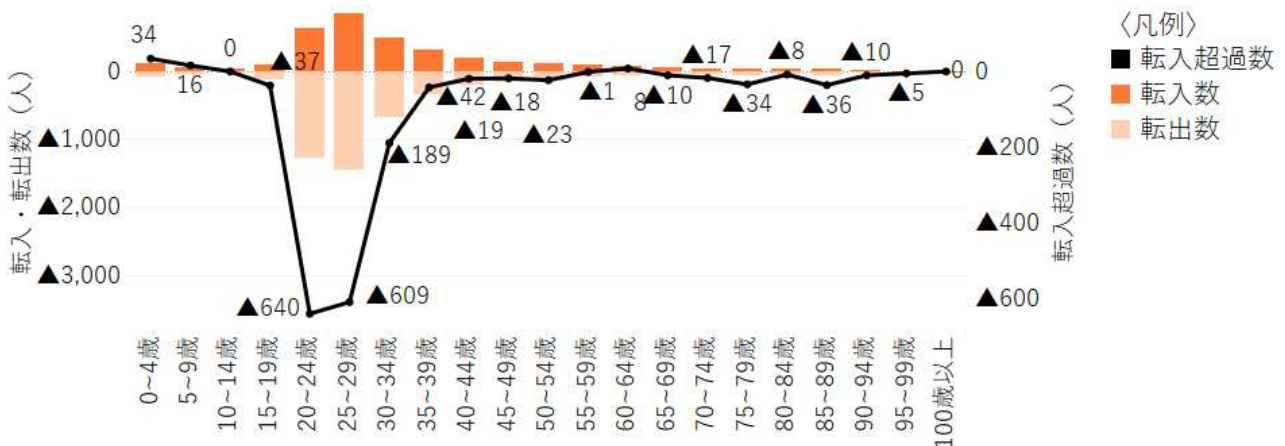


图15-4 年齢別、転入超過数（東京圏）

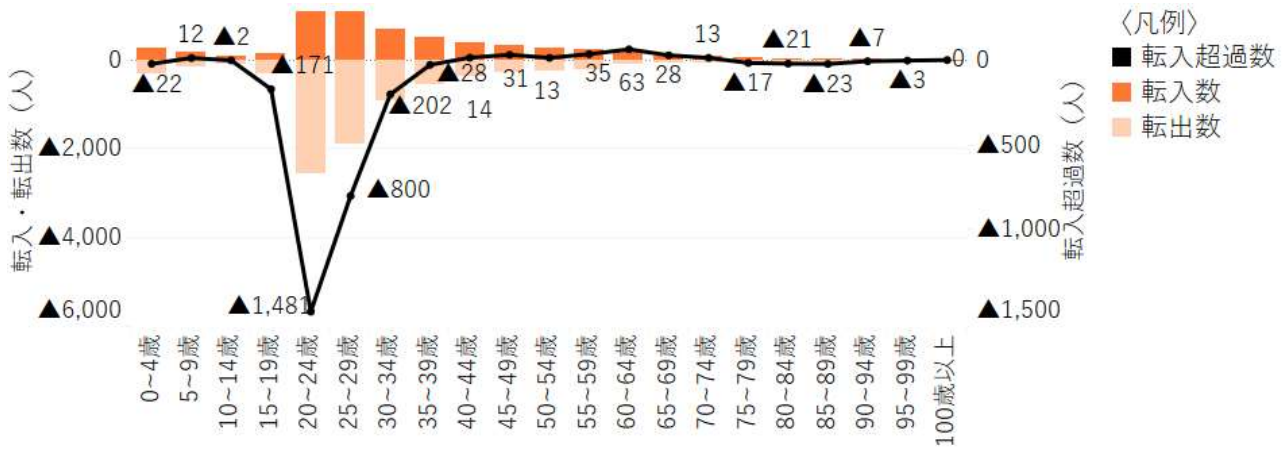


图15-5 年齢別、転入超過数（西日本）

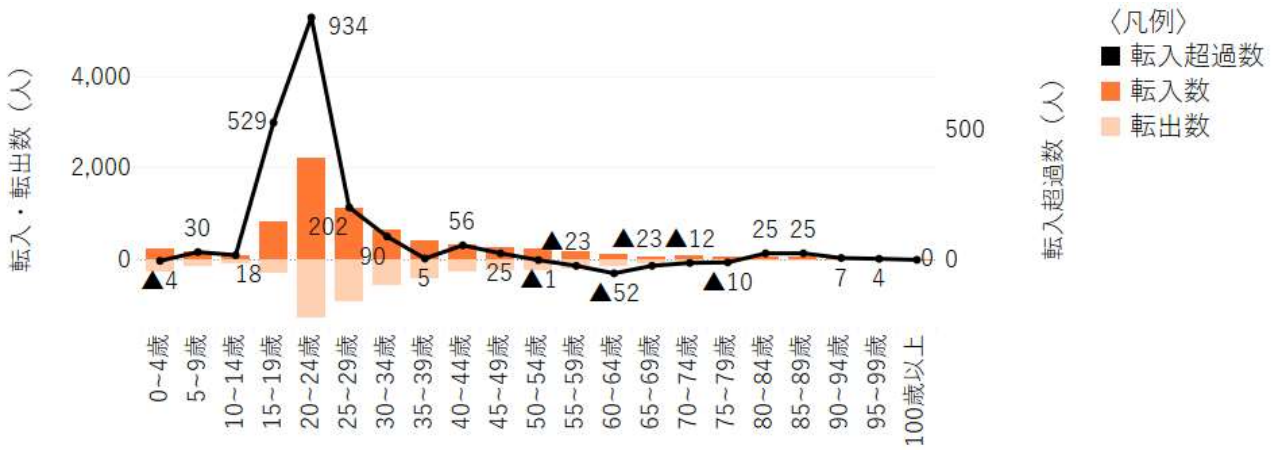
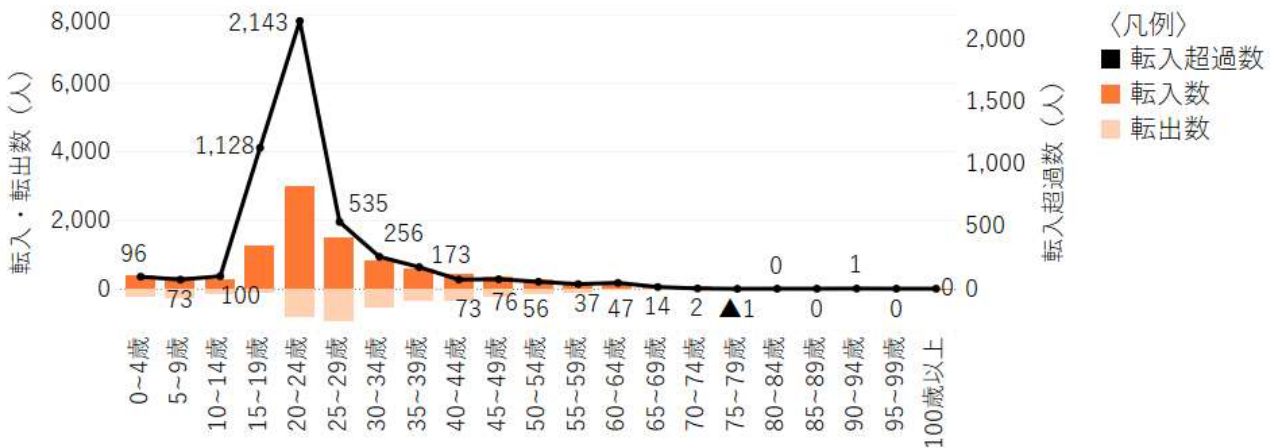


图15-6 年齢別、転入超過数（国外）



資料：後掲表『第12表 年齢（5歳階級）別、相手地域別転入超過数』（图15-1~6）

IV 参考表

表1 人口の動きの推移

年次	全市	東灘区	灘区	中央区	兵庫区	北区	北本区	北神	長田区	須磨区	須磨本区	北須磨	垂水区	西区	西本区	玉津
人口増減数（人口動態）																
2008年	3,310	1,279	608	1,519	866	▲170	▲1,012	842	▲594	▲329	707	▲1,036	▲436	567	…	…
2009年	3,436	532	1,171	1,423	369	380	▲486	866	▲714	▲66	705	▲771	162	179	…	…
2010年	842	603	687	937	▲515	231	▲695	926	▲317	▲1,124	40	▲1,164	263	77	…	…
2011年	501	839	704	1,167	▲491	▲452	▲1,131	679	▲595	▲743	236	▲979	▲114	186	…	…
2012年	▲2,846	760	325	672	▲873	▲882	▲1,331	449	▲1,423	▲1,532	▲305	▲1,227	40	67	…	…
2013年	▲1,507	986	451	1,204	▲216	▲1,478	▲1,392	▲86	▲633	▲545	81	▲626	▲323	▲953	…	…
2014年	▲3,005	392	931	811	▲242	▲1,832	▲1,505	▲327	▲506	▲412	261	▲673	▲642	▲1,505	…	…
2015年	▲2,121	820	258	1,704	334	▲1,992	▲1,608	▲384	▲941	▲1,314	▲529	▲785	13	▲1,003	…	…
2016年	▲2,320	▲73	433	2,449	▲117	▲1,781	▲1,262	▲519	▲654	▲1,178	▲188	▲990	▲531	▲868	…	…
2017年	▲3,470	286	363	1,736	86	▲1,921	▲1,438	▲483	▲703	▲1,012	▲210	▲802	▲751	▲1,554	…	…
2018年	▲5,052	▲26	▲295	1,576	146	▲2,183	▲1,763	▲420	▲749	▲1,002	▲316	▲686	▲1,095	▲1,424	…	…
2019年	▲4,366	287	146	1,160	31	▲1,722	▲1,708	▲14	▲553	▲929	▲121	▲808	▲1,091	▲1,695	…	…
2020年	▲6,683	▲900	▲566	1,132	▲232	▲1,331	▲1,227	▲104	▲912	▲547	393	▲940	▲1,585	▲1,742	…	…
2021年	▲9,090	▲834	▲298	▲387	▲468	▲1,087	▲1,001	▲86	▲729	▲980	▲263	▲717	▲2,165	▲2,142	…	…
2022年	▲6,086	▲793	▲15	742	896	▲1,500	▲1,018	▲482	▲380	▲1,263	▲243	▲1,020	▲2,558	▲1,935	▲1,547	▲388
2023年	▲10,406	▲1,386	▲547	864	▲75	▲2,076	▲1,334	▲742	▲675	▲1,679	▲482	▲1,197	▲2,266	▲2,566	▲2,050	▲516
自然増減数（自然動態）																
2008年	▲513	437	34	▲161	▲512	▲29	▲246	217	▲600	▲198	▲144	▲54	▲48	564	…	…
2009年	▲508	493	▲15	▲221	▲439	▲2	▲219	217	▲610	▲149	▲93	▲56	▲34	469	…	…
2010年	▲1,479	407	38	▲215	▲591	▲120	▲244	124	▲604	▲349	▲137	▲212	▲311	266	…	…
2011年	▲1,642	267	▲1	▲128	▲545	▲197	▲335	138	▲697	▲312	▲128	▲184	▲259	230	…	…
2012年	▲2,473	281	▲114	▲201	▲615	▲384	▲470	86	▲839	▲475	▲225	▲250	▲345	219	…	…
2013年	▲2,586	360	▲32	▲159	▲695	▲462	▲532	70	▲771	▲416	▲137	▲279	▲472	61	…	…
2014年	▲2,863	113	▲164	▲149	▲559	▲521	▲550	29	▲821	▲391	▲109	▲282	▲352	▲19	…	…
2015年	▲3,435	156	▲98	▲143	▲622	▲714	▲652	▲62	▲783	▲501	▲180	▲321	▲573	▲157	…	…
2016年	▲3,594	74	▲88	▲102	▲568	▲765	▲677	▲88	▲834	▲548	▲231	▲317	▲480	▲283	…	…
2017年	▲4,110	21	▲150	▲77	▲631	▲809	▲640	▲169	▲849	▲638	▲271	▲367	▲545	▲432	…	…
2018年	▲5,074	▲94	▲290	▲164	▲649	▲983	▲754	▲229	▲916	▲699	▲358	▲341	▲673	▲606	…	…
2019年	▲5,645	▲150	▲381	▲171	▲626	▲1,100	▲887	▲213	▲885	▲797	▲364	▲433	▲822	▲713	…	…
2020年	▲6,064	▲277	▲405	▲113	▲644	▲1,044	▲831	▲213	▲943	▲766	▲304	▲462	▲1,011	▲861	…	…
2021年	▲8,026	▲556	▲446	▲337	▲878	▲1,294	▲946	▲348	▲1,068	▲971	▲408	▲563	▲1,376	▲1,100	…	…
2022年	▲9,173	▲554	▲698	▲413	▲926	▲1,532	▲1,127	▲405	▲1,153	▲1,126	▲484	▲642	▲1,450	▲1,321	▲1,136	▲185
2023年	▲9,832	▲727	▲683	▲448	▲859	▲1,660	▲1,192	▲468	▲1,105	▲1,314	▲539	▲775	▲1,656	▲1,380	▲1,182	▲198
社会増減数（社会動態）																
2008年	3,823	842	574	1,680	1,378	▲141	▲766	625	6	▲131	851	▲982	▲388	3	…	…
2009年	3,944	39	1,186	1,644	808	382	▲267	649	▲104	83	798	▲715	196	▲290	…	…
2010年	2,321	196	649	1,152	76	351	▲451	802	287	▲775	177	▲952	574	▲189	…	…
2011年	2,143	572	705	1,295	54	▲255	▲796	541	102	▲431	364	▲795	145	▲44	…	…
2012年	▲373	479	439	873	▲258	▲498	▲861	363	▲584	▲1,057	▲80	▲977	385	▲152	…	…
2013年	1,079	626	483	1,363	479	▲1,016	▲860	▲156	138	▲129	218	▲347	149	▲1,014	…	…
2014年	▲142	279	1,095	960	317	▲1,311	▲955	▲356	315	▲21	370	▲391	▲290	▲1,486	…	…
2015年	1,314	664	356	1,847	956	▲1,278	▲956	▲322	▲158	▲813	▲349	▲464	586	▲846	…	…
2016年	1,274	▲147	521	2,551	451	▲1,016	▲585	▲431	180	▲630	43	▲673	▲51	▲585	…	…
2017年	640	265	513	1,813	717	▲1,112	▲798	▲314	146	▲374	61	▲435	▲206	▲1,122	…	…
2018年	22	68	▲5	1,740	795	▲1,200	▲1,009	▲191	167	▲303	42	▲345	▲422	▲818	…	…
2019年	1,279	437	527	1,331	657	▲622	▲821	199	332	▲132	243	▲375	▲269	▲982	…	…
2020年	▲619	▲623	▲161	1,245	412	▲287	▲396	109	31	219	697	▲478	▲574	▲881	…	…
2021年	▲1,064	▲278	148	▲50	410	207	▲55	262	339	▲9	145	▲154	▲789	▲1,042	…	…
2022年	2,367	▲239	683	1,155	1,822	32	109	▲77	773	▲137	241	▲378	▲1,108	▲614	▲411	▲203
2023年	▲574	▲659	136	1,312	784	▲416	▲142	▲274	430	▲365	57	▲422	▲610	▲1,186	▲868	▲318

注) 各区の社会増減数については、同一区内での移動数は含んでいない。しかし、北区、須磨区、西区の本区及び北神、北須磨、玉津の数値には、同一区内での移動数も含んでいる。

表2 2023年月別人口の動き

年次	全市	東灘区	灘区	中央区	兵庫区	北区	北区		長田区	須磨区	須磨区		垂水区	西区	西区		玉津
							北本区	北神			須磨本区	北須磨			西本区		
人口増減数																	
1月中	▲1,692	▲180	▲168	▲42	▲81	▲229	▲123	▲106	▲111	▲294	▲112	▲182	▲359	▲228	▲195	▲33	
2月中	▲1,919	▲252	▲199	▲240	▲212	▲140	▲82	▲58	▲134	▲181	▲71	▲110	▲326	▲235	▲198	▲37	
3月中	▲2,919	▲648	▲235	233	▲159	▲463	▲278	▲185	▲177	▲337	▲188	▲149	▲442	▲691	▲528	▲163	
4月中	2,085	538	347	783	358	▲110	▲120	10	216	▲6	52	▲58	▲13	▲28	▲23	▲5	
5月中	▲518	▲50	▲7	199	▲3	▲170	▲123	▲47	42	▲107	▲27	▲80	▲209	▲213	▲195	▲18	
6月中	▲949	▲194	46	▲114	25	▲190	▲88	▲102	▲30	▲169	▲61	▲108	▲98	▲225	▲203	▲22	
7月中	▲460	▲65	▲49	59	86	▲151	▲111	▲40	▲15	▲43	▲4	▲39	▲149	▲133	▲114	▲19	
8月中	▲1,143	▲93	▲111	▲120	2	▲153	▲74	▲79	▲121	▲139	▲31	▲108	▲194	▲214	▲174	▲40	
9月中	▲806	▲111	▲25	78	▲32	▲117	▲50	▲67	▲77	▲163	▲54	▲109	▲179	▲180	▲93	▲87	
10月中	▲155	▲52	▲44	160	88	▲56	▲61	5	▲30	▲52	26	▲78	▲124	▲45	▲69	24	
11月中	▲907	▲167	▲69	▲37	▲57	▲118	▲76	▲42	▲68	▲84	▲12	▲72	▲91	▲216	▲159	▲57	
12月中	▲1,023	▲112	▲33	▲95	▲90	▲179	▲148	▲31	▲170	▲104	0	▲104	▲82	▲158	▲99	▲59	
年合計	▲10,406	▲1,386	▲547	864	▲75	▲2,076	▲1,334	▲742	▲675	▲1,679	▲482	▲1,197	▲2,266	▲2,566	▲2,050	▲516	
自然増減数																	
1月中	▲1,335	▲124	▲79	▲77	▲108	▲232	▲181	▲51	▲124	▲182	▲67	▲115	▲206	▲203	▲178	▲25	
2月中	▲1,012	▲80	▲68	▲39	▲104	▲165	▲116	▲49	▲106	▲140	▲58	▲82	▲190	▲120	▲96	▲24	
3月中	▲826	▲82	▲69	▲24	▲82	▲139	▲109	▲30	▲73	▲99	▲37	▲62	▲145	▲113	▲97	▲16	
4月中	▲695	▲50	▲76	▲29	▲53	▲99	▲81	▲18	▲87	▲94	▲28	▲66	▲100	▲107	▲98	▲9	
5月中	▲693	▲26	▲61	▲6	▲79	▲113	▲85	▲28	▲89	▲83	▲33	▲50	▲133	▲103	▲90	▲13	
6月中	▲696	▲65	▲30	▲31	▲48	▲158	▲113	▲45	▲66	▲77	▲30	▲47	▲122	▲99	▲94	▲5	
7月中	▲528	▲4	▲46	▲21	▲56	▲100	▲72	▲28	▲42	▲75	▲31	▲44	▲118	▲66	▲60	▲6	
8月中	▲851	▲90	▲52	▲22	▲62	▲145	▲93	▲52	▲125	▲107	▲60	▲47	▲124	▲124	▲106	▲18	
9月中	▲722	▲54	▲55	▲41	▲71	▲82	▲52	▲30	▲83	▲110	▲49	▲61	▲124	▲102	▲85	▲17	
10月中	▲785	▲27	▲94	▲50	▲62	▲113	▲81	▲32	▲104	▲110	▲48	▲62	▲128	▲97	▲77	▲20	
11月中	▲799	▲58	▲25	▲46	▲50	▲147	▲95	▲52	▲111	▲126	▲55	▲71	▲122	▲114	▲97	▲17	
12月中	▲890	▲67	▲28	▲62	▲84	▲167	▲114	▲53	▲95	▲111	▲43	▲68	▲144	▲132	▲104	▲28	
年合計	▲9,832	▲727	▲683	▲448	▲859	▲1,660	▲1,192	▲468	▲1,105	▲1,314	▲539	▲775	▲1,656	▲1,380	▲1,182	▲198	
社会増減数																	
1月中	▲357	▲56	▲89	35	27	3	58	▲55	13	▲112	▲45	▲67	▲153	▲25	▲17	▲8	
2月中	▲907	▲172	▲131	▲201	▲108	25	34	▲9	▲28	▲41	▲13	▲28	▲136	▲115	▲102	▲13	
3月中	▲2,093	▲566	▲166	257	▲77	▲324	▲169	▲155	▲104	▲238	▲151	▲87	▲297	▲578	▲431	▲147	
4月中	2,780	588	423	812	411	▲11	▲39	28	303	88	80	8	87	79	75	4	
5月中	175	▲24	54	205	76	▲57	▲38	▲19	131	▲24	6	▲30	▲76	▲110	▲105	▲5	
6月中	▲253	▲129	76	▲83	73	▲32	25	▲57	36	▲92	▲31	▲61	24	▲126	▲109	▲17	
7月中	68	▲61	▲3	80	142	▲51	▲39	▲12	27	32	27	5	▲31	▲67	▲54	▲13	
8月中	▲292	▲3	▲59	▲98	64	▲8	19	▲27	4	▲32	29	▲61	▲70	▲90	▲68	▲22	
9月中	▲84	▲57	30	119	39	▲35	2	▲37	6	▲53	▲5	▲48	▲55	▲78	▲8	▲70	
10月中	630	▲25	50	210	150	57	20	37	74	58	74	▲16	4	52	8	44	
11月中	▲108	▲109	▲44	9	▲7	29	19	10	43	42	43	▲1	31	▲102	▲62	▲40	
12月中	▲133	▲45	▲5	▲33	▲6	▲12	▲34	22	▲75	7	43	▲36	62	▲26	5	▲31	
年合計	▲574	▲659	136	1,312	784	▲416	▲142	▲274	430	▲365	57	▲422	▲610	▲1,186	▲868	▲318	

注) 各区の社会増減数については、同一区内での移動数は含んでいない。しかし、北区、須磨区、西区の本区及び北神、北須磨、玉津の数値には、同一区内での移動数も含んでいる。

表3 日本人・外国人別人口の動きの推移

(単位：人)

年次	日本人			外国人		
	人口増減数	自然増減数	社会増減数	人口増減数	自然増減数	社会増減数
2016年	▲ 3,497	▲ 3,541	44	1,177	▲ 53	1,230
2017年	▲ 5,197	▲ 4,038	▲ 1,159	1,727	▲ 72	1,799
2018年	▲ 6,329	▲ 5,037	▲ 1,292	1,277	▲ 37	1,314
2019年	▲ 5,645	▲ 5,597	▲ 48	1,279	▲ 48	1,327
2020年	▲ 5,635	▲ 6,018	383	▲ 1,048	▲ 46	▲ 1,002
2021年	▲ 8,077	▲ 7,953	▲ 124	▲ 1,013	▲ 73	▲ 940
2022年	▲ 11,178	▲ 9,008	▲ 2,170	4,372	▲ 165	4,537
2023年	▲ 13,023	▲ 9,760	▲ 3,263	2,617	▲ 72	2,689
東灘区	▲ 1,632	▲ 759	▲ 873	246	32	214
灘区	▲ 561	▲ 686	125	14	3	11
中央区	105	▲ 448	553	759	0	759
兵庫区	▲ 501	▲ 888	387	426	29	397
北区	▲ 2,384	▲ 1,651	▲ 733	308	▲ 9	317
長田区	▲ 1,050	▲ 1,041	▲ 9	375	▲ 64	439
須磨区	▲ 1,750	▲ 1,276	▲ 474	71	▲ 38	109
垂水区	▲ 2,359	▲ 1,639	▲ 720	93	▲ 17	110
西区	▲ 2,891	▲ 1,372	▲ 1,519	325	▲ 8	333

表4 自然動態の推移

(単位：人，‰)

年次・区	自然増減数	出生数	死亡数	自然増減率	出生率	死亡率	a)
							人口 (10月1日現在)
2008年	▲ 513	12,878	13,391	▲ 0.33	8.38	8.72	1,536,433
2009年	▲ 508	12,981	13,489	▲ 0.33	8.42	8.75	1,541,214
2010年	▲ 1,479	12,979	14,458	▲ 0.96	8.40	9.36	1,544,200
2011年	▲ 1,642	12,954	14,596	▲ 1.06	8.38	9.45	1,544,970
2012年	▲ 2,473	12,636	15,109	▲ 1.60	8.19	9.79	1,543,075
2013年	▲ 2,586	12,437	15,023	▲ 1.68	8.07	9.75	1,541,169
2014年	▲ 2,863	12,218	15,081	▲ 1.86	7.94	9.79	1,539,755
2015年	▲ 3,435	12,140	15,575	▲ 2.23	7.90	10.13	1,537,272
2016年	▲ 3,594	12,124	15,718	▲ 2.34	7.89	10.22	1,537,467
2017年	▲ 4,110	11,565	15,675	▲ 2.68	7.53	10.21	1,535,559
2018年	▲ 5,074	10,711	15,785	▲ 3.31	6.99	10.30	1,532,515
2019年	▲ 5,645	10,468	16,113	▲ 3.69	6.84	10.53	1,529,756
2020年	▲ 6,064	10,100	16,164	▲ 3.98	6.62	10.60	1,525,152
2021年	▲ 8,026	9,537	17,563	▲ 5.29	6.29	11.58	1,517,073
2022年	▲ 9,173	9,196	18,369	▲ 6.07	6.09	12.16	1,510,171
2023年	▲ 9,832	8,818	18,650	▲ 6.56	5.88	12.43	1,499,887
東灘区	▲ 727	1,419	2,146	▲ 3.45	6.74	10.19	210,670
灘区	▲ 683	846	1,529	▲ 5.02	6.22	11.24	136,029
中央区	▲ 448	1,020	1,468	▲ 3.01	6.85	9.86	148,936
兵庫区	▲ 859	721	1,580	▲ 7.83	6.57	14.40	109,686
北区	▲ 1,660	1,054	2,714	▲ 8.06	5.12	13.18	205,978
本区	▲ 1,192	585	1,777	▲ 9.63	4.73	14.36	123,716
北神	▲ 468	469	937	▲ 5.69	5.70	11.39	82,262
長田区	▲ 1,105	542	1,647	▲ 11.86	5.82	17.68	93,181
須磨区	▲ 1,314	893	2,207	▲ 8.48	5.76	14.25	154,929
本区	▲ 539	446	985	▲ 7.58	6.27	13.85	71,113
北須磨	▲ 775	447	1,222	▲ 9.25	5.33	14.58	83,816
垂水区	▲ 1,656	1,192	2,848	▲ 7.95	5.73	13.68	208,205
西区	▲ 1,380	1,131	2,511	▲ 5.94	4.87	10.81	232,273
本区	▲ 1,182	874	2,056	▲ 6.20	4.59	10.79	190,587
玉津	▲ 198	257	455	▲ 4.75	6.17	10.91	41,686

注) 自然増減率，出生率，死亡率は，各年10月1日現在の人口1,000人当たりの率である。

2008年～2009年，2011年～2014年，2016年～2019年は，それぞれ2005年，2010年，2015年，2020年に実施した国勢調査の確定数を基に修正した修正推計人口である。

a) 2010年，2015年，2020年は国勢調査結果，それ以外は推計人口である。